

# 資料 2

## 【別紙資料】

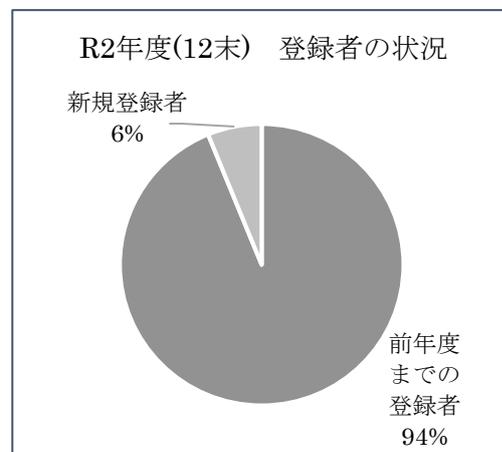
発達障がい者就業支援コーディネーター事業  
実施状況（令和2年度12月末）

令和2年度 発達障がい者就業支援コーディネーター事業報告

大阪市障がい者就業・生活支援センター  
(担当 前田)

1. 登録者の状況

	H30年度	R1年度	R2.12末
登録者数	163	213	227
前年度までの登録者数	116	161	213
新規登録者数	47	52	14



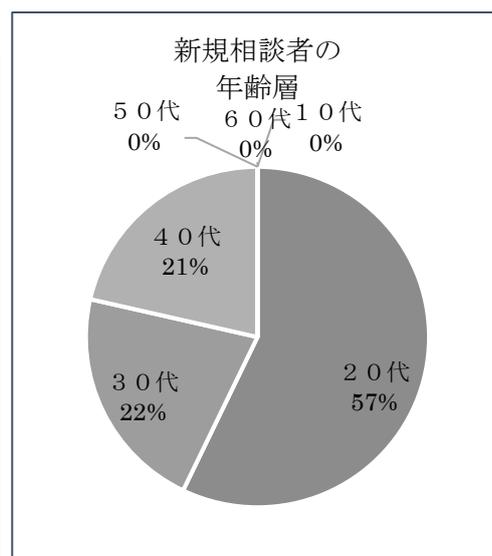
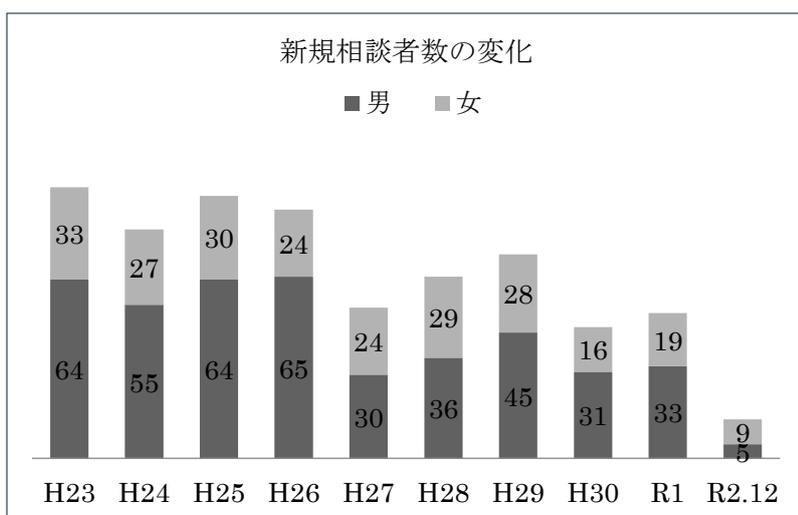
2. 令和1年度新規登録者の状況

(1) 新規相談者数の変化

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2.12	合計
相談者数	63	97	82	94	89	54	65	73	47	52	14	722
男	34	64	55	64	65	30	36	45	31	33	5	459
女	29	33	27	30	24	24	29	28	16	19	9	263

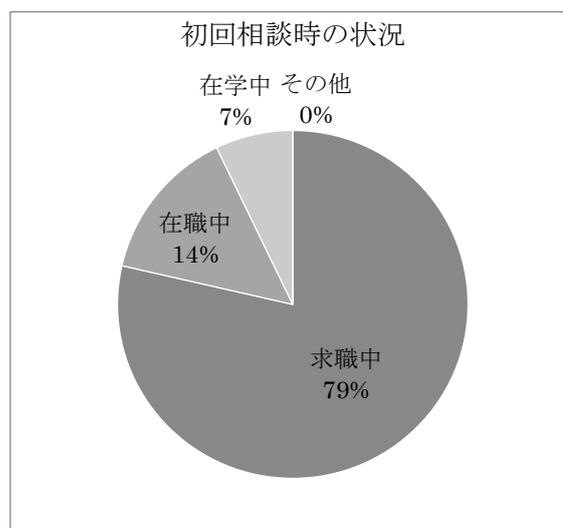
(2) 新規相談者の年齢層

年齢層	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
全体	0	8	3	3	0	0	14
男	0	2	2	1	0	0	5
女	0	6	1	2	0	0	9



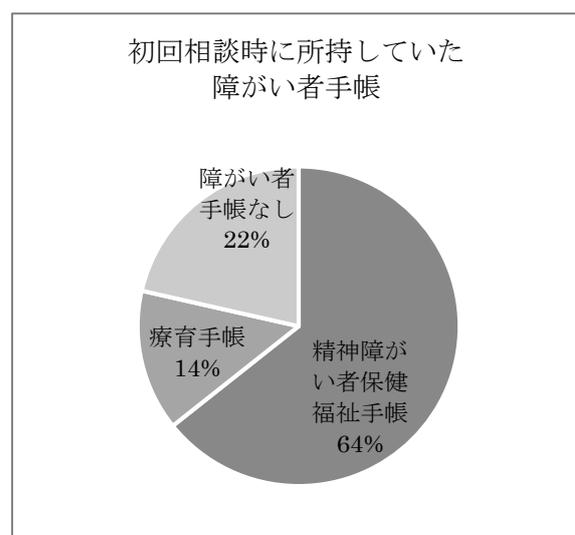
(3) 初回相談時の状況

初回相談時の状況		人数
求職中		11
在職中 (内休職者)		2(0)
	障がい者雇用	1
	一般雇用	0
	就労継続A型	1
在学中		1
	高等学校	0
	専門学校	0
	大学	1
その他		0
合計		14



(4) 初回相談時に所持していた障がい者手帳の種類

障がい者手帳の種類	人数
精神障がい者保健福祉手帳	9
療育手帳	2
障がい者手帳なし	3
合計	14



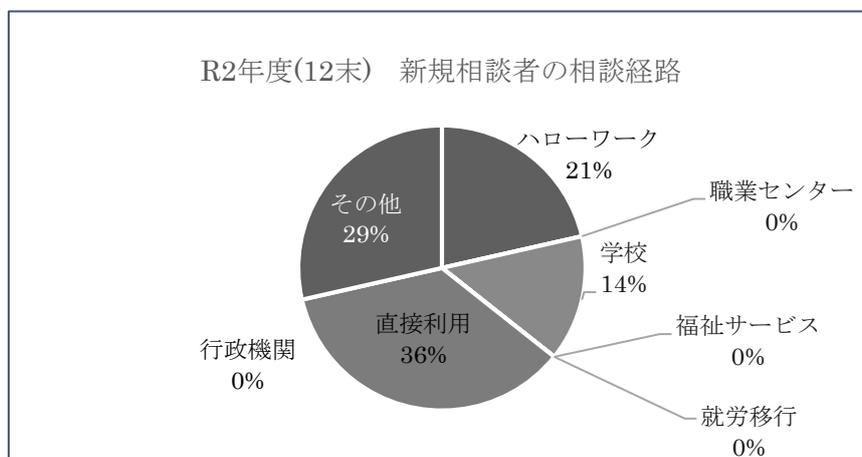
・初回相談時は手帳なしとはあるが、3名とも申請中ではあった。

(5) 相談の内容(一部)

- ・大学の就職サポートセンターの紹介。在学中もアルバイト経験などもなく、本人も訓練してから就職をしたいとのことで相談。
- ・クローズで勤務をしてきたが、人間関係でしんどくもなり次はオープンでの就労をしたい。しかし、春から通信制の学校に行く予定なので短時間での就労を希望される。

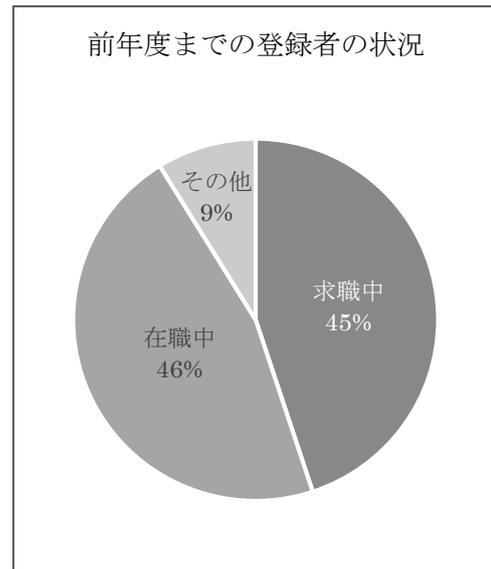
(6) 新規相談者の利用経路（利用するに至った経緯・経路）

利用経路	H30 年度	R1 年度	R2.12 末
① ハローワーク	12	17	3
障がい者窓口	8	9	1
わかものハローワーク	4	8	2
② 大阪障害者職業センター	0	2	0
③ 学校	0	3	2
特別支援学校	0	0	0
上記以外の学校	0	3	2
④ 就労移行支援事業所	0	1	0
⑤ 上記④以外の福祉サービス事業所	1	1	0
⑥ 市役所等の行政機関	8	1	0
区役所	8	1	0
はーとふるぷらざ	0	0	0
⑦ 直接利用（家族含む）	17	18	5
ホームページ	3	5	1
家族・知人・当事者会	14	13	4
⑧ 上記以外	9	9	4
発達障がい者支援センター	7	2	1
医療機関	1	3	2
困窮者支援機関	0	0	0
企業	1	2	0
就業・生活支援センター	0	1	0
一般向け相談機関	0	0	1
人材紹介サービス(障がい者専用)		1	0
合計	47	52	14



### 3. 前年度までの登録者の状況

前年度までの登録者の状況	人数
求職中	102
就労移行	12
就労移行以外の福祉サービス (継続B、自立訓練)	19
職業能力開発校	0
定期相談・ハローワーク同行等	71
在職中 (休職中)	105
障がい者雇用	79
一般雇用	12
就労継続A型	14
その他	20
合計	227



### 4. 全登録者への相談・支援状況

#### (1) 相談・支援件数 (内容別 延べ件数)

内容	H30 年度	R1 年度	R2.12 末
就職に向けた相談・支援	759	1068	352
職場定着に向けた相談・支援	358	285	193
就業と生活両方にわたる相談・支援	334	313	121
合計	1451	1666	666

#### (2) 相談・支援件数 (手段別・延べ件数)

手段	H30 年度	R1 年度	R2.12 末
センターへの来所	203	282	139
電話・FAX・メール	871	1052	413
職場訪問 (延べ訪問回数)	126	174	75
家庭・入所施設への訪問	3	4	13
その他 (ハローワーク・医療機関・区役所等への 同行、ケース会議等)	248	318	130
合計	1451	1830	770

(3) 職場定着支援・職場復帰支援

① 本人に対する支援

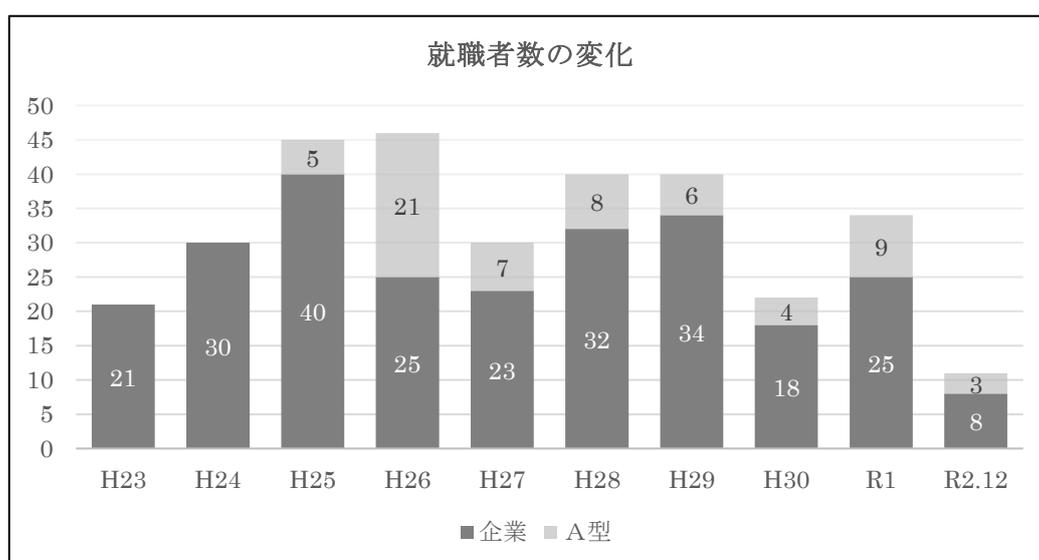
	H30年度	R1年度	R2.12末
支援対象者数（在職者総数）	77	100	105
職場定着に向けた相談・支援 （来所相談、電話等、職場訪問、家庭訪問など）	358	285	193
職場訪問件数	102	151	110
職場訪問実人数	21	23	21

② 事業所に対する支援

	H30年度	R1年度	R2.12末
支援を実施した事業所数	32	43	29
来所	1	9	4
電話・メール・FAX	53	69	55
職場訪問	116	131	64
その他（ケース会議等）	2	7	3
合計	204	259	155

5. 就職者数の変化

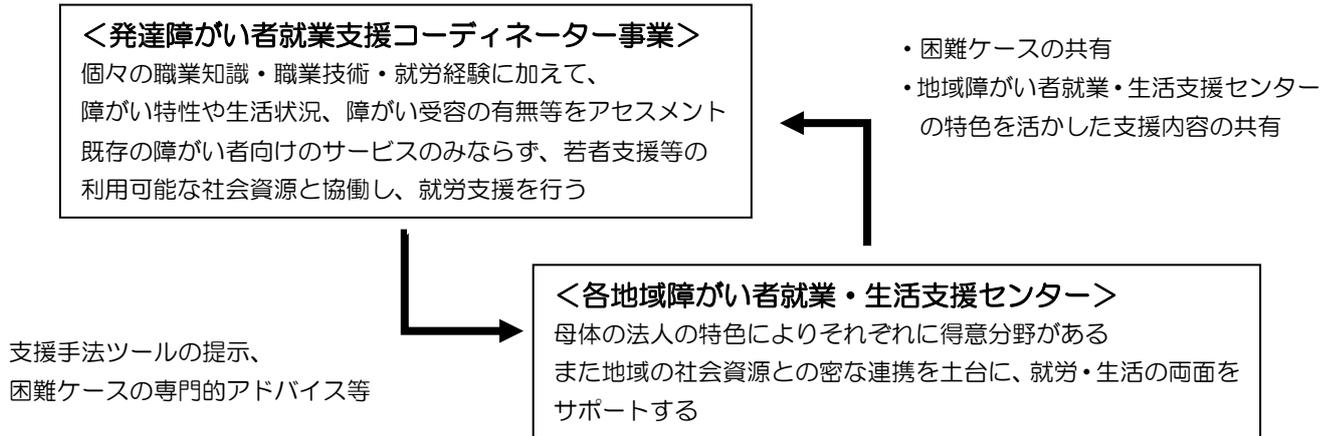
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2.12
企業	6	21	30	40	25	23	32	34	18	25	8
A型	—	—	—	5	21	7	8	6	4	9	3
合計	6	21	30	45	46	30	40	40	22	34	11



令和2年度12月末時点就職者一覧

	障がい者手帳	診断名	年代	性別	就職時における一般枠の有無	採用日	就職までに要した期間(月)	定着状況	職種・業種	週労働時間	相談経路	初回相談時の状況		利用した社会資源等
												求職中	就労中	
1	精神	ADHD	30	男		R2/4/1	14ヵ月		一般事務	30時間以上	わかものハローワーク	求職中	一般で働かれていた経験あり。訓練校(一般)にも行き就職したがうまくいかなかった。	ハローワーク 障害者職業センター
2	精神	自閉症スペクトラム	30	女		R2/4/2	7ヵ月		一般事務	30時間以上	職業センター	求職中	一般で働かれていた経験あり。準備支援を利用して相談。	ハローワーク 障害者職業センター
3	精神	自閉症スペクトラム	20	男		R2/4/20	3ヵ月		一般事務	30時間以上	学校(大学)	在学中	発達の疑いがありオープンでの就労を希望。※今回の就職は支援中2回目	ハローワーク 障害者職業センター
4	精神	自閉症スペクトラム ADHD	30	男		R2/6/1	34ヵ月		清掃・軽作業	30時間以上	相談支援	求職中	就労移行利用中。2年で就職できずB型を利用され定着支援が利用できないとのことで再支援希望	就労移行支援事業所 B型事業所
5	精神	自閉症スペクトラム	20	男		R2/6/8	26ヵ月		事務補助	30時間以上	学校(一般)	在学中	学校卒業後の進路について相談。訓練校を希望される。	職業訓練校
6	精神	自閉症スペクトラム	20	男		R2/8/4	16ヵ月		一般事務	30時間以上	わかものハローワーク	求職中	他県より転入。ステップアップを考えてまずはA型での訓練から一般就労を希望。	わかものハローワーク
7	療育	自閉症スペクトラム	20	男		R2/10/9	1ヵ月		品だし・接客	20時間以上 30時間未満	医療機関	求職中	一般で働かれていた経験あり。オープンでの就労を希望。通信制の学校も今後検討しているので短時間就労希望され相談。	ハローワーク
8	療育	自閉症スペクトラム	40	男		R2/10/16	13ヵ月		軽作業	20時間以上 30時間未満	ハローワーク (障がい者窓口)	求職中	就労移行支援事業所にて訓練中。仕事の体験ができるのであれば紹介してほしいと相談。	就労移行支援事業所 ハローワーク
9	精神	ADHD	20	女		R2/8/3	20ヵ月		軽作業 (A型事業所)	20時間以上 30時間未満	エルムおおさか	求職中	家の自営の手伝いをしている。訓練の必要もわかっていて訓練先を相談。	ハローワーク B型事業所 障害者職業センター
10	精神	自閉症スペクトラム	20	女		R2/8/3	1ヵ月		軽作業 (A型事業所)	20時間以上 30時間未満	直接利用	就労中(カウントなし)	A型事業所にて就労中。別のA型事業所を希望される。	ハローワーク A型事業所
11	精神	ADHD	20	女		R2/10/6	2ヵ月		軽作業 (A型事業所)	20時間以上 30時間未満	わかものハローワーク	求職中	一般で働かれていた経験あり。ゆっくと作業できることを希望される。	わかものハローワーク

**地域障がい者就業・生活支援センターにおける  
「発達障がい者向け相談」等の支援力向上のための取り組み**



地域障がい者就業・生活支援センターのケース対応スキルが向上することで、地域障がい者就業・生活支援センターで対応可能なケースが増え、また地域の社会資源の整備が進んでいくことにより、福祉サービスや職業訓練を希望するケースは比較的スムーズに社会資源に繋がりがやすくなってきている。

そのため発達障がい者就業支援コーディネーターが対応すべきケースとして、障がい受容が困難であるケース、福祉サービスに馴染まず居場所を得ることから始めなければならないケース、若者支援で対応しきれないケース、医療連携が必要なケース、企業に相談ニーズがあるケース等、より地域のネットワークを広げた長期的な支援が必要なケースへの対応が増えつつある。

そういったケースに対し、各地域障がい者就業・生活支援センターと連携を図りながら、地域の資源を活用し、それぞれの特色を活かしケース対応に取り組む。

**地域障がい者就業・生活支援センターとの事例・情報共有勉強会実施状況  
 (令和2年度12月末時点)**

実施月	情報共有・検討内容
5月	リモート代替による本年度の「就業支援フェスタ」の内容検討の中で発達事例紹介を検討
9月	企業からの支援センターへの登録についての問い合わせについて検討

**セミナー等講演会への講師派遣による発達障がい理解の促進 (令和2年度12月末時点)**

本年度は、新型コロナウイルスの感染の影響によりセミナーや講演会の中止が多く依頼はない状況

地域の支援機関との連携、コーディネートについて

事例	連携機関	コーディネート内容
<p>初めての障がい者枠での就職活動。                      今まで一般就労で長期間勤務、働きづらさなど感じ診断・手帳取得。                      自身の特性や必要な配慮の整理、また定着支援を希望。</p>	<p>発達障がい者支援センター                      障害者職業センター                      ハローワーク専門援助部門</p>	<p>障がい特性の整理として職業センターの準備支援を利用。                      その間もハローワークを通じて求職活動や職場実習などを行う。                      求職活動もコロナの影響も少しあり面接会にも参加しづらい状況である。</p>
<p>特例子会社へ就労。                      コロナの影響で入社当初は在宅勤務もあるが順調に勤務される。                      しかし、体調を崩されて出勤が難しくなってくる。</p>	<p>家族                      医療機関                      特例子会社</p>	<p>医療機関にも同行し本人の状況を確認する。                      ご族からは家での様子などを伺う。                      医療機関の情報やご族からの様子などを会社の担当者に情報提供を行う。                      月1で会社にも訪問を行いご本人との面談も行い勤務時間などを会社担当者と調整も行う。</p>

講座等の開催による情報の収集・発信について（令和元年度実施状況）

○ 制度活用・就職準備・就職マナー講座等の開催状況

種別	会場等	参加者	参加者数	内容
一般教育 諸学校向け 講座 (普通高校) (専門・専修 学校等)	東朋高等専修学校 (出前講座)	在校生・家族・教職員・ 支援事業者・行政関係者	26事業所 約70名	・社会資源活用や福 祉サービス体験等の 予約相談 ・SSTなどを用いた グループワーク
	全国職リハ学会大会 (公開講座)	在校生・教職員・支援事業 者	32	
	淀川区役所 (出前講座)	淀川区はたらく・くらし 応援フェスタ参加者対象	60	基礎講座（発達傾向 のある方への理解と 支援方法）
支援学校 支援機関 向け講座	大教大中等部 (地域連携授業)	家族・地域学校教職員 (在校生)・地域支援事 業者・ 地域行政関係者 在校生・教職員	60	・基礎講座（発達傾 向のある方への理解 と支援方法） ・地域支援機関担当 者によるサービス説 明・相談 ・学生就活相談コー ナー ・日中活動場情報の 提供 ・余暇支援情報の提 供
	なんば支援学校 (学校指定合同講座)		15	
	東住吉支援学校 (通所事業所説明会)		74	
	大阪市職業指導センタ (市民向け合同講座)		200	
在校生向け 講座	都島区民センター (出前講座)	就労支援フェスタ参加者 対象	94	・就職前マナー実践 講座(面接・身だしな みなど) ・履歴書作成のため の基礎講座(書き方・ 自己アピールの仕方 など) ・SSTなどを用いた グループワーク(一 般在校生向け就活講 座含む)
	西区民センター (出前講座)	ディーセントワーク(し ごとオープンキャンパ ス)参加者対象	30	
	思斉支援学校 (出前講座)	在校生・教職員	29	
	大教大付属支援学校 (出前講座)		20	
	ワークセンター中授 (移行・B型)		28	
	(株)ダイキンサンライズ摂津 (重度障がい者多数雇用 企業)		8	
	WANA 関西マルヒア (自立訓練)		11	
	大阪 MAC (社会復帰施設)		30	

令和2年度は新型コロナウイルスの影響で未実施。